

「竹島・東京集会」意見発表

(隠岐の島町長 松田和久)

平成 24 年 4 月 11 日

只今、ご紹介を賜りました島根県・隠岐の島町長の松田で御座います。

先ず以って、本日の「竹島・東京集会」をご計画下さいました「日本の領土を守る議員連盟」をはじめ、関係者の皆様方に心より御礼を申し上げます。誠に有難う御座いました。

私たちの隠岐の島町は、平成 16 年 10 月 1 日に、島の玄関・旧西郷町を始めと致します 4 町村が合併し、一島一町となった処で御座いますが、問題の『竹島』は、旧五箇村・久見集落地先として所管され、戦前まで地先漁業者により数日間から時には数週間の泊り込みによります操業もされて参ったところで御座います。

設置をされております「竹島領土権確立隠岐期成同盟会」の会長を、旧五箇村長から引き受けまして以来、毎年、政府並びに関係省庁、国会議員の先生方に、一日も早い「領土権の確立」を求め、要望活動を実施させて頂きながら本日に至りました。

これまで、「竹島」が日本の領土であることを否定する方々には一度もお会いしたことは御座いませんが、残念ながら、これを所管・管理する省庁すら、未だ設置をして頂いていないのが現状で御座います。誠に痛恨の極み、情けないと申し上げる以外、言葉を見出せません。

一昨年春先に韓国政府によります竹島沖合い海洋開発基地建設構想の情

報を入手致しました。この情報が誤報でないこと、また韓国が他の領海未解決海域に於きまして、すでに同様の海洋開発基地を建設している実績がありますことから、これを放置し、韓国資本で強引にこの基地が建設されてしまいますと、今後半世紀も経つか経たないうちに、今度は、竹島と、私共の最北の地先、白島海岸の中間点、つまり隠岐の島町北方沖合 7～80Km の海上に再び国境線ならぬ第 2 の李承晩ラインが引かれかねません。

私は、極めて大きな危機感にかられ、その年、つまり昨年・平成 22 年の 10 月 23 日に、山谷えり子先生はじめ 3 名の国会議員の先生方にお出かけを頂き、この様な蛮行を認めない、断固反対の狼煙を上げる島民集会を、地元・隠岐の島町で開催させて頂き、と同時に、中央に御座いまして国際世論に訴える大会の即時開催と、その必要性を訴えさせて頂いたところで有りますが、それもかなわず、本日の集会に至ったかと思っているところで御座います。

その後、この問題は、韓国海洋部の予算確保と具体的入札実施が改めまして昨年の通常国会で取上げられたところで有りますことは、すでにご案内のとおりです。

私は、今年年頭の書初めに「啐啄同時」という 4 文字熟語をしたためました。何事にも通ずることかと思いますが、タイミングを逸してしまいますと効果半減どころかまったく意味がなくなってしまうことだってあるのではないのでしょうか。

本日の中央集会が大きなきっかけとなり、竹島領土権確立の早期実現に繋がって参りますことを、改めて心よりご祈念申し上げまして、私の挨拶に替えさせて頂きます。

ご清聴、誠に有り難う御座いました。